

平成 30 年 10 月定例記者会見

【10 月 1 日(月)午後 1 時／4 階特別会議室】

会見項目

- 1 宮古市都市計画マスタープランの策定について (都市計画課)
- 2 災害時等における無人航空機による業務協力に関する協定の締結について (危機管理課)
- 3 「観光振興に係る連携協定」の締結について (観光課)
- 4 イーストピアみやこオープン記念イベントについて (復興推進課)
- 5 宮古市生涯学習市民講演会について (生涯学習課)
- 6 鮎ヶ崎灯台の一般公開とトレッキングイベントについて (観光課)
- 7 「第 36 回新里まつり」について (新里総合事務所)
- 8 高田式体育教室「ダイヤモンドキッズカレッジ」について (生涯学習課)
- 9 宮古・室蘭フェリー航路開設記念事業について (港湾振興課)
- 10 第 19 回崎山貝塚縄文まつりについて (文化課)
- 11 イーストピアみやこ開設記念シンポジウムについて (復興推進課)

会見内容

別紙資料 1 ～ 1 1 のとおり。

記者との質疑

朝日新聞記者

資料 9 に関連して、宮蘭フェリーのダイヤが変わりましたが、どのように受け止めていますか。

市長

三陸沿岸道路がまだつながらない状況で、八戸から高速道路を使って都心に運ぶ、というのは仕方がないのかなと思います。ただこれは暫定的な処置だろうと見ています。

NHK 記者

このまま航路が縮小するんじゃないかという危惧はありませんか。

市長

今のところはありません。来年三陸沿岸道路が仙台までつながり、2020 年には宮古盛岡横断道路が開通しますのでそういうのに期待したいと思っています。マイナス思考ではなく、いい方向に行くようにわれわれも一緒に努力していくというのが大事だと思います。

岩手日報記者

資料4の「オープン記念イベント」について、資料11の「シンポジウム」についているような“開設記念事業”という冠がついていませんが何か理由でもあるのでしょうか。

市長

オープン記念イベントは施設内をよくわかっていただくための市民向けのイベントという意味合いですので、資料11の「シンポジウム」とはまた趣旨の違ったものになります。

I A T 記者

資料1の「都市計画マスタープラン」について、有効期間はいつまでになりますか。

市長

平成30年から20年間の計画になります。

資料 1 宮古市都市計画マスタープランの策定について

<p>計画策定の背景と目的</p>	<p>平成15年に都市計画マスタープラン策定の後、市町村合併、東日本大震災からの復興、人口減少・少子高齢化の進行など社会環境が大きく変化した。これらの変化に対応するとともに、長期的なまちづくりの方向性を示すものとして、都市計画マスタープランを全面的に見直し、策定した。</p>
<p>計画策定までの経過</p>	<p>庁内幹事会・庁内委員会、市民委員会、市民説明会、パブリックコメント、都市計画審議会等を経て策定した。</p>
<p>計画の主な内容</p>	<p>■都市の将来像 「森・川・海」とひとが共生する安らぎのまち</p> <p>■三つのまちづくりの基本的な方針 『自然と共に生きるまちづくり』 『健やかで心豊かなひとを育むまちづくり』 『多様な産業が結びつき力強く活動するまちづくり』</p> <p>■五つの都市づくりの目標 (1) 中心拠点の賑わいと活力ある都市づくり (2) 子供から高齢者まで、安全・安心で快適に住み続けられる都市づくり (3) 「森・川・海」との共生と、地域資源を活かした魅力ある都市づくり (4) 地域の元気を支える連携・交流さかんな都市づくり (5) 市民参画と協働によるまちづくり</p> <p>■将来都市構造 各地域における歴史や文化、暮らしなど、地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを進めるとともに、各地域の拠点を交通ネットワークにより相互に連携する都市構造を目指す</p>
<p>今後行う具体的な取り組み</p>	<p>◇中心市街地の都市計画道路の変更 くるま重視から、歩行者等優先へ転換し、賑わいと魅力の創出を図る</p> <p>◇市道末広町線の無電柱化事業 電線類地中化と道路美装化等により、歩いて楽しむ道路整備を行う</p> <p>◇用途地域の変更 地域の状況に応じた、土地利用の促進のための変更を行う</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>市都市計画課 管理計画係 (☎68-9108)</p>

資料2 災害時等における無人航空機（ドローン）による 業務協力に関する協定の締結について

<p>経緯等</p>	<p>近年、災害等におけるドローン活用の有効性が注目されており、その導入について検討をしていたところ、ドローンによる空撮を行っている市内事業者から災害時の協力の申し出があったものであり、このほど、業務協力に関する協定締結の運びとなった。</p> <p>災害時には、ドローンによる災害現場の映像や画像等の情報収集、孤立者への物資等の輸送を速やかに行うなど、迅速な対応に貢献するものと期待している。</p>
<p>日時</p>	<p>10月15日(月) 午前9時</p>
<p>場所</p>	<p>イーストピアみやこ 多目的ホール（2階）</p>
<p>内容</p>	<p>■調印式【9:00～】</p> <p>◇協定締結の相手方 株式会社トップクルー 代表取締役 古館裕三^{ゆうぞう}（宮古市根市 2-33-2）</p> <p>◇協定内容 災害状況を把握するための画像等の情報収集 孤立者への物資等輸送 など</p> <p>■デモンストレーション飛行【調印式終了後～】 ※場所はそのまま、多目的ホール内で実施する</p>
<p>出席者</p>	<p>株式会社トップクルー・・・ 古館裕三^{ゆうぞう}代表取締役 宮古市・・・ 山本正徳市長</p>
<p>特記事項</p>	<p>◎岩手県内では6自治体〔盛岡市、大船渡市、遠野市、釜石市、雫石町、田野畑村〕が同様の協定を締結している（H30.6.1現在 県調査より）</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>市危機管理監 危機管理課 防災係（☎68-9111）</p>

資料3 「観光振興に係る協定」の締結について

<p>経緯等</p>	<p>復興道路や復興支援道路の整備により、車を利用する観光客にとって、本市へのアクセスが向上しており、一般社団法人日本自動車連盟岩手支部（通称：JAF^{ジャフ}岩手支部）から、ドライブ旅行を中心とした観光振興への協力について申し出があったものであり、このほど、協定を締結する運びとなった。</p> <p>ドライブ旅行を中心とした観光客を誘致し、観光振興や地域の活性化に寄与するものと期待される。</p>
<p>日時</p>	<p>10月15日(月) 午後4時</p>
<p>場所</p>	<p>市役所本庁舎4階特別会議室（イーストピアみやこ）</p>
<p>内容</p>	<p>■調印式【午後4時～】</p> <p>◇協定締結の相手方 一般社団法人日本自動車連盟（東京都港区芝大門1-1-30）</p> <p>◇協定の期間 平成30年10月15日～平成31年3月31日 （以後、双方から意思表示のない限り1年ごとの自動更新とする）</p> <p>◇協定による連携内容</p> <p>①JAF公式観光情報サイトにおいて、宮古市の情報を発信する。 ②JAF会員向け会報誌において、イベント等をPRする。 ③JAF公式通販サイトにおいて、特産品の販売を可能とする。</p>
<p>出席者</p>	<p>一般社団法人日本自動車連盟岩手支部・・・高橋康雄^{やすお} 支部長 宮古市・・・・・・・・・・・・・・・・山本正徳 市長</p>
<p>特記事項</p>	<p>◎岩手県内では13自治体（7市6町）が同様の協定を締結している（H30.9.1現在） ※13自治体・・・盛岡市、大船渡市、久慈市、遠野市、釜石市、八幡平市、奥州市、雫石町、葛巻町、平泉町、岩泉町、洋野町、一戸町）</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>市観光課 もてなし観光係（☎68-9091）</p>

資料4 イーストピアみやこオープン記念イベントについて

趣旨・目的	市民交流センター（イーストピアみやこ）の完成を記念したオープン記念イベントを市民と共に開催する。
日時	10月7日(日) 午前9時～午後8時 8日(月・祝) 午前9時～午後3時
場所	市民交流センター全館
内容	<p>1日目 10月7日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆オープニング【ダンス、日本舞踊、餅まき】(交流プラザ) ◆津波模型実演(防災プラザ) ◆ヨガ体験(運動スタジオ) ◆お茶会(和室) ◆バルーン教室、パステル和アート体験(創作スタジオ) ◆絵本お話し会(ふれあいひろば) ◆映画上映会(多目的ホール) <p>2日目 10月8日(月・祝)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆アトラクション【吹奏楽、書道パフォーマンス、菓子まき】(交流プラザ) ◆防災ワークショップ(防災プラザ) ◆いきいき体操教室(運動スタジオ) ◆高校生のお茶会(和室) ◆パステル和アート体験(創作スタジオ) ◆絵本お話し会(ふれあいひろば) ◆映画上映会(多目的ホール) <p>両日開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆物産販売(大仙市、品川区、堺市)
問い合わせ	市復興推進課 拠点施設推進室(市民交流センター事務室、☎63-4166)

資料5 宮古市生涯学習市民講演会について

「あなたが輝く言葉とメロディー ～トークと朗読+音楽の時間～」

趣旨・目的	社会が複雑化、多様化する中で、市民一人ひとりが自主的、自発的に学習する機会を提供し、生涯学習への意識啓発を図る。
日時	10月19日(金) 午後6時30分～8時(開場は午後5時30分)
場所	市民文化会館大ホール
主催	宮古市教育委員会
内容	<p>俳優の紺野美沙子さんが主宰する「朗読座」が、トークと朗読と音楽を織り交ぜたステージを繰り広げ、会場の皆さんを元気にします。</p> <p>市民合唱団や朗読サークルの有志の方々や、会場に集まった皆さんと一緒に参加するコーナーもあります。</p> <p>■出演者</p> <p>紺野美沙子さん(俳優)</p> <p>中村由利子さん(作曲家・ピアニスト)</p> <p>■入場料</p> <p>無料。ただし入場整理券が必要。入場整理券は、市内の公共施設など市内17カ所で9月19日から配布中。</p>
特記事項	<p>◎紺野美沙子さんは、国連開発計画親善大使として、国際協力の分野においても活躍中である。</p> <p>◎2010年から「紺野美沙子の朗読座」を主宰し、さまざまなジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスやドラマリーディングを、全国各地で公演している。</p>
問い合わせ	市教育委員会 生涯学習課 社会教育係 (☎68-9119)

資料6 鮭ヶ崎灯台の一般公開とトレッキングイベントについて

趣旨・目的	三陸ジオパークを広く普及させることを目的とし、鮭ヶ崎灯台内部の一般公開及びトレッキングイベントを実施する。
内容・日時・場所	<p>1. 鮭ヶ崎灯台一般公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日時：10月20日(土)午前10時～午後2時 ■場所：重茂 鮭ヶ崎 ■内容：鮭ヶ崎灯台内部の一般公開（申し込み不要） <p>2. 三陸ジオパーク・ジオサイトを見学しよう！！（鮭ヶ崎）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日時：10月20日(土)午前8時30分～午後3時30分 ■場所：重茂 鮭ヶ崎（※集合場所は宮古駅前。姉吉までバスで移動） ■内容：ガイドと一緒に姉吉漁港から鮭ヶ崎灯台までの自然歩道をトレッキングしながら、ジオサイトとしての鮭ヶ崎について学ぶ。 ■参加料：無料 ■定員：20人（事前申し込みが必要） ■申込期限：10月18日(木) ■申込先：宮古市三陸ジオパーク推進協議会（市観光課内、☎68-9091）
特記事項	◎姉吉漁港から鮭ヶ崎灯台へ続く道のりは、今後「みちのく潮風トレイル」のトレイルコースに指定される予定（来年4月ごろの予定）。
問い合わせ	市観光課 ジオパーク推進係（☎68-9091）

資料7 「第36回新里まつり」について

趣旨・目的	商工業、農林業の振興と地域特産品の開発を促進し、地区民総参加による手作りの「新里まつり」を通じて、宮古市民のふれあい及び他市町村住民との交流の場を広げるとともに宮古市の活性化を目指す。
日時	10月21日(日) 午前9時30分～午後3時30分(雨天決行)
場所	新里トレーニングセンター特設会場 (宮古市刈屋 17-3)
主催	新里まつり実行委員会
内容	①地域特産品の販売 農産物の即売会、広域特産品販売 (宮古・下閉伊地区) ②ステージイベント 招待郷土芸能演舞、オークション、バラエティ歌謡ショー、お楽しみ大抽選会 ③その他のイベント タイムサービス、宝さがし (小学生以下)、釣り堀コーナー、お買いもの福引抽選会
特記事項	◎前回(平成29年)の ^{いりこみすう} 入込数は、約9000人。
問い合わせ	市新里総合事務所 (☎72-2111) 宮古商工会議所新里支所 (☎72-2231)

資料 8 高田式体育教室「ダイヤモンドキッズカレッジ」について

趣旨・目的	東日本大震災以降、公園や運動施設の利用に制約があったことから、子どもたちの運動機会を確保するとともに、体力向上を図ることを目的に、宮古市復興推進スポーツチャレンジ事業として実施している。
日時	10月21日(日) 午前9時～午後4時
場所	市民総合体育館メインアリーナ
主催等	(主催) 高田道場 (共催) 宮古市、宮古市教育委員会
内容	<p>■アマチュアレスリングの要素を取り入れた高田道場オリジナルの体育教室。マット運動を中心に</p> <p>“人の話を聞く姿勢”</p> <p>“身体を動かすことの楽しさ”</p> <p>“触れ合いの中から生まれる自己肯定感”</p> <p>をたくさん子ども達に知ってもらえるような指導を 高田延彦さん・向井亜紀さんはじめとする高田道場スタッフや県内高校レスリング部員が行う。</p> <p>■午前の部 時間：午前9時～11時30分 対象：小学3年生～小学6年生</p> <p>■午後の部 時間：午後1時30分～4時 対象：満5歳児～小学2年生</p>
特記事項	<p>◎前回参加者数</p> <p>午前の部 (小学3年生～小学6年生)・・・80人</p> <p>午後の部 (満5歳児～小学2年生)・・・105人 計185人</p> <p>◎高田式体育教室「ダイヤモンドキッズカレッジ」の宮古市開催は、今回で7年連続7回目。</p>
問い合わせ	市教育委員会 生涯学習課 体育振興係 (☎68-9120)

資料9 宮古・室蘭フェリー航路開設記念事業について

趣旨・目的	新たな交通ネットワークである「宮古・室蘭フェリー航路」が開設されたことから、「食」をテーマとしたみなとまちづくりのイベントとなる「みなとオアシス Sea 級グルメ東北大会」を開催するとともに、帆船「みらいへ」を招致し、みなとからの賑わいを創出する。
主催	宮古市、宮古港利用促進協議会ほか
期日・場所・内容	<p>1. 第1回みなとオアシス Sea 級グルメ東北大会 in みやこ 日時：10月27日(土) 午前9時～午後4時 28日(日) 午前9時～午後3時 場所：宮古港フェリーターミナル 駐車場 内容：東北管内の「みなとオアシス」が、Sea（海）の要素を含むグルメを出店</p> <p>2. 帆船「みらいへ」歓迎事業 日時：10月27日(土) 午前9時～午後4時 28日(日) 午前9時～午後4時 ※入港は10月25日(木)、出港は10月29日(月) 場所：藤原ふ頭 F9バース 内容：入港歓迎セレモニー、船内一般公開、来場者も参加してのセイルドリル等を実施。夜間（午後6時～10時）はイルミネーション点灯。</p>
特記事項	<p>◎Sea 級グルメ東北大会は11店（東北管内3店、宮古市内7店、北海道1点）が参加予定。投票及び順位決定は行わない。 ※11店の内訳（いずれも調整中。増減の可能性あり） ▶東北管内3店（もぐらんぴあ・八戸・大間の、各みなとオアシス） ▶北海道1店（みなとオアシス室蘭） ▶市内7店（田老町漁協、丸友しまか、丸徳、浄土ヶ浜旅館ほか）</p> <p>◎帆船「みらいへ」は、宮古港開港400周年記念事業（平成27年）に入港して以来、3年ぶり3回目の寄港である。</p> <p>◎フェリーターミナル見学会あり（10月27日(土)・28日(日)の両日実施）</p>
問い合わせ	宮古港利用促進協議会（市港湾振興課内、☎68-9093）

資料 10 第 19 回 崎山貝塚縄文まつりについて

趣旨・目的	「崎山貝塚縄文まつり」を通じ、貴重な国史跡である崎山貝塚に親しんでいただき、縄文体験から先人たちの知恵を肌で感じてもらい、地域の歴史や文化への理解を深めることを目的とする。
日時	11月3日(土) 午前10時～午後3時
場所	崎山貝塚縄文の森ミュージアム・縄文の森公園
主催	第19回崎山貝塚縄文まつり実行委員会
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■縄文体験や崎山地区自治会連合会による産直 ■崎山公民館によるお振る舞いやコンサート ■崎山小学校による復興ソーラン<small>さきやまだまし</small>崎山魂 など
特記事項	<p>◎前回の入場者は448人</p> <p>◎崎山貝塚縄文まつりは、実行委員会が主催するイベントとして実施する</p>
問い合わせ	市教育委員会 文化課 学芸係 (☎65-7526)

資料 11 イーストピアみやこ開設記念シンポジウムについて

<p>趣旨・目的</p>	<p>宮古市中心市街地拠点施設（イーストピアみやこ）は、東日本大震災被災の教訓から「地域防災拠点施設」として、市民の安全・安心と災害に強いまちづくりの拠点としての役割が期待されている。</p> <p>市民交流センターには「防災プラザ（防災展示学習）」を設けて、防災・減災のまちづくりの必要性を伝える場としている。開設記念シンポジウムは、これまでの復興の歩みを振り返りながら、今後のまちづくりのために、学びを発信するものである。</p>
<p>日時</p>	<p>11月3日（土・祝）午後1時30分～4時30分</p>
<p>場所</p>	<p>イーストピアみやこ 多目的ホール（2階）</p>
<p>主催等</p>	<p>主催：宮古市、一般財団法人自治総合センター</p>
<p>内容</p>	<p>イーストピアみやこ開設記念事業「みやこ・未来創造・シンポジウム」 ～第1回・防災・減災のまちづくり～</p> <p>■①基調講演 ◇講師 宮古市復興推進総合アドバイザー・<small>しゅとうのぶお</small>首藤伸夫氏（東北大学名誉教授） ◇演題「自然現象と災害」</p> <p>■②パネルディスカッション ◇テーマ「自然と共に生きる ～災害に強いまちづくりを考える～」 ※パネリスト等は調整中</p> <p>■その他 定員は120人。入場無料。ただし申し込みが必要。申込期限は10月26日（金）</p>
<p>特記事項</p>	<p>◎この事業は、全国モーターボート競走施行者協議会から支援を受けて実施するものである。</p> <p>◎11月5日の「津波防災の日」に合わせて開催するものである。</p> <p>◎第2回は、「市民協働のまちづくり」をテーマに、12月に開催予定。 日時：12月1日（土）午後1時30分～4時30分 場所：イーストピアみやこ 多目的ホール（2階）</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>市復興推進課 拠点施設推進室（市民交流センター事務室、☎63-4166）</p>